

母と子のにわ

vol.51 Autumn
2022.9.20

—利用者みなさまと大阪母子医療センターをつなぐ—

Web版は
こちらから▶



renewal

ホームページを リニューアルしました

6月にホームページをリニューアルしました。やさしい、見やすい、分かりやすい表示をこころがけました。コロナ対応のルールなど来院前に必要な情報をお伝えする「ご来院に際して」など新しいページも増えました。今後、更なる充実をめざします。

NEW
トップ
ページ



ご来院に際して

センターからのお知らせ

最近の取り組み・活動

こどものページ

広報誌 母と子のにわ

こどものページ ～来院前にぜひ見てね～

大阪母子医療センターを受診される子どもたちが、少しでも安心して来院できるように、そしてわたしたちのセンターに親しみをもってもらえるように5つのコンテンツを用意しています。



NEW

こどもの
ページ



新しくなった当センターのホームページをぜひ一度ご覧くださいね

面会制限のお願い

(2022年9月20日現在)

小児棟

- 12～20時の間
 - ご両親のみ
- をお願いします

母性棟

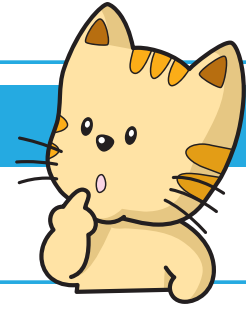
- 個室のみ
 - 週1回30分以内
 - 夫・パートナーのみ
 - 15～20時の間
- をお願いします

新型コロナウイルス感染症の流行状況により、変更となる可能性がございます。ご来院の前に、ホームページの「ご来院に際して」などをご確認ください。

大阪母子医療センターの得意な診療

じんだいたいりょうほう

小児の腎代替療法について



腎臓の最も重要な働きは余分な水分や老廃物を尿として排出することです。腎臓の病気が進行し末期腎不全になるとこの働きがなくなり、命にかかわる状態となります。そのため腎臓の代わりに余分な水分や老廃物を除去する腎代替療法という治療が必要です。腎代替療法には **血液透析**、**腹膜透析**、**腎移植** の3つの方法があり、いずれの方法にも長所と短所があります。

血液透析 は、日本で最も多く行われている腎代替療法です。人工透析器を用いて体外で血液を浄化し再び体に戻す方法です。手首などに太い血管をつなぐ手術を行い血管の穿刺を毎回行う必要がある、ある程度以上の体格・血液量が必要である、1回数時間、週3回程度の透析を病院で行いその間のベッド上安静が必要であることなどから、小児での施行は困難でほとんどは成人が対象となっています。

腎移植 は、長期間の免疫抑制剤が必要でそれに伴う合併症の可能性があります、腎臓の働きを代替するという点で最も優れています。ただし腎臓を与えるドナーが必要となります。日本では亡くなった方から腎臓をいただく献腎移植の数が少なく、家族の方からの生体腎移植が中心となっています。成人の腎臓を移植するため体格の小さな小児では施行が困難です。

腹膜透析 は、カテーテルを腹部に留置し、1日数回腹腔内に透析液を貯留・排出し持続的に透析を行うものです。腹膜炎発症の可能性などの合併症があるものの、自宅で行うことができ、穿刺の疼痛がないなど小児に適した透析方法です。また、機械を用いて夜間に透析を行うことで日中の活動も保つことができます。胎児スクリーニングにより発見された乳児期の腎不全に対しても行うことが可能です。残念なことに腹膜透析は10年以上の施行が困難なために、腹膜透析期間中に体格・体重を大きくし、その後の腎代替療法を選ぶこととなります。

当センターでは、血液透析については慢性期の対応は行っておらず急性期の対応しかできません。腹膜透析に対しては以前から取り組んでおり、乳幼児からの施行例も含め多くの小児患者の経験があります。また、献腎移植は行っていませんが、およそ15～20kg以上の体重があれば生体腎移植を念頭に置き泌尿器科を受診いただいています。個々の小児期の末期腎不全患者さんに対して、最も適した腎代替療法をお示しすることができると考えております。

残念ながら今の医療では末期腎不全そのものを治すことはできませんが、適切な腎代替療法を選ぶことで小児腎不全患者のQOLを高めることができると考えています。

(腎・代謝科 山本 勝輔)

小児
救急

小児救急輪番制に
参加しています

当センターは、地域の小児救急体制維持のため泉州地域の小児救急輪番制に参加しています。
(第1・4日曜日 23時～翌月曜日 6時)
詳細は当センターホームページをご覧ください。



LINE

昨年12月からセンター公式LINEを開始しました。
入院・通院されている患者さんやご家族に必要な情報、
お役立ち情報を配信しています。ぜひ、ご登録ください！



こどもの
心疾患の

最新の治療・動向・センターの強み



生まれつき心臓に病気のあるお子さんは 100 人に 1 人とされており、手術やカテーテル治療が必要になる方も少なくありません。

当センターは、1991 年に小児医療部門が開設されて以来、小児循環器科と心臓血管外科のハートチームで、数多くのカテーテル検査・治療、心臓手術を行ってきました。現在では年間約 350 件のカテーテル検査（うち 150 件が治療）、約 200 件の心臓手術（うち 120 件が人工心肺を用いた開心術）を行っています。

さらに、2020 年からは 1kg 以上の未熟児・新生児の動脈管に対するカテーテル治療、2022 年からは心房中隔欠損しんぼうちゅうかくけつそんに対するカテーテル治療も当センターで可能となり、治療の選択肢が増えました。もちろん新生児の心臓手術や緊急手術にも 24 時間対応しています。

心臓の病気にはたくさんの病態があり、たとえ同じ病名であっても「この病気にはこの治療」と単純に決めることはできません。そのため、私たちは一人一人に毎回カンファレンスを開いて真剣に議論し、お子さんにとって最も良いと考えられる治療方法を提示しています。

そして、その治療を成功させるには、術前の細かな診断、術式、術中麻酔、術後管理が重要で、小児循環器科医や心臓血管外科医だけでなく、集中治療科医、麻酔科医のほか、専門的な知識を持った看護師、臨床工学士、心理士、理学療法士など、多くのスタッフが力を合わせる必要があります。

こどもの総合病院である当センターは、小児医療のエキスパートが集まって密な連携をとり、質の高い医療を提供できることが強みです。

これからもお子さんが安全で確実な治療を受け、すくすくと育っていけるようにチームとして診療を行っていきます。

(小児循環器科 荻谷 太/心臓血管外科 津村 早苗)

心臓血管外科 新任部長

就任のごあいさつ

2022 年 5 月より心臓血管外科部長に就任した津村早苗と申します（旧姓は山内です）。

私自身は 2010 年から当センターに勤務し、前病院長の川田博昭先生、前部長の盤井成光先生いわいしげみつとともに、計 10 年以上にわたって数多くの手術に携わってきました。

当科では、心室中隔欠損しんしつちゅうかくけつそん、ファロー四徴症しちょうししょう、完全大血管転位かんぜんだいいけかんでんい、総肺静脈還流異常そうはいじょうみやく、左心低形成症候群かんにりゅういじょう、左心低形成症候群さしんていけいせいししょうこうぐん、単心室症たんしんしつしょうなど様々な先天性心疾患の手術を行っています。段階的に複数回の手術が必要となる疾患も多く、生まれてすぐに手術をしなければならないお子さんも少なくありません。

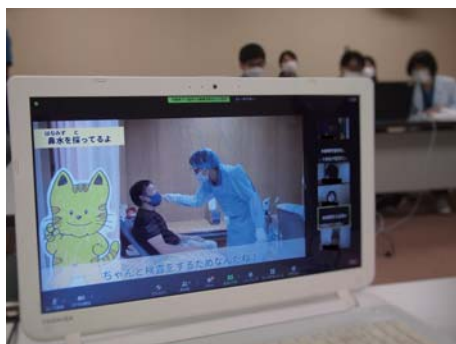
小さなこどもの命を救うには手術の正確さのみならず、術前の診断、麻酔、術後管理といった高い総合力が必要です。当センターでは小児循環器科をはじめ、麻酔科、集中治療科、新生児科など、あらゆる科のスタッフが職種を超えて連携しており、この総合力の高さは全国に誇れると自負しています。

「生まれてきてくれた大切なこどもを元気におうちに帰りたい」その一心で手術に臨んでおり、安全で確実な、質の高い手術を提供するのが私たちの使命だと考えています。大切なこどもとご家族のために全力を尽くしますので、どうぞよろしく願いいたします。

(心臓血管外科 津村 早苗)



きっずセミナーを開催しました



臨床検査技師コース

当センターでは、未来を担う子どもたちが、自分の将来について考える機会になってほしいと 2010 年から「きっずセミナー」を開催しています。

新型コロナウイルス感染拡大のため、今年もオンラインで開催しました。看護師コース、助産師コース、薬剤師コース、臨床検査技師コース、放射線技師コース、臨床工学技士コース、管理栄養士コース、研究者コースの 8 コースを開催し、全国から約 100 名の子どもたちが参加してくれました。一人で複数のコースに参加してくれる子どもたちもたくさんいました。

オンラインでも子どもたちが病院の仕事に興味を持ってもらえるよう、クイズ、動画なども取り入れ、各コースを工夫して実施しました。

きっずセミナーをきっかけに、医療職を目指してくれる子どもたちがいたら嬉しいです。

(母子保健調査室)



RECIPE

医師・栄養士監修

里芋とひじきの炊き込みご飯

秋の食材「里芋ときのこ」を使った簡単炊き込みご飯です



里芋は煮物のイメージが強いかもしれませんが、炊き込みご飯にするとほくほくもちりとした食感が楽しめます！
また、さつま芋やじゃが芋と比べてエネルギーが低くカリウムを多く含んでいます。
ひじき・さくらえびを加えて鉄・カルシウムをUPしました☆旬の味覚で食欲の秋を満喫してみてください♪

(栄養管理室)

1 下ごしらえ

米は炊く 30 分～1 時間前に洗ってざるにあげておく。
里芋は皮を剥き一口大に切り、塩少々を振ってぬめりを出して洗い流し水気をふく。
ひじきは水で戻し、水気を切る。
しめじは石づきを取って小房に分ける。

point /

里芋のぬめりを取ることでほくほくした食感になります♪煮物をするときは吹きこぼれ防止にもなります。

2 炊飯する

炊飯器に米をいれ、だし汁と調味料を加えて混ぜる。
下ごしらえした里芋・ひじき・しめじとさくらえびを加えて炊く。

材料 (2 人分) 1 人分あたり 341kcal

● 米	160g	● だし汁	カップ 1 弱 (190g)
● 里芋	100g	● 調味料	
● ひじき(乾)	4g	● 酒	小さじ 2 弱 (9g)
● しめじ	1/5 パック (20g)	● しょうゆ	小さじ 1 と 1/2 (9g)
● さくらえび(乾)	4g	● みりん	小さじ 2/3 (4g)

大阪母子医療センターの食育レシピ「こどもの心と体の成長・発達によい食事」妊娠期・乳児期 P.31 に掲載されています

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪母子医療センター

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840
電話 0725-56-1220
FAX 0725-56-5682
<https://www.wch.opho.jp/>

基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します

基本方針

- ・ 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します
- ・ 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います
- ・ 地域と連携して母子保健を充実させます
- ・ 母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます